

平成29年度 第1回朝倉市総合教育会議

日時：平成30年2月15日（木）14：00～15：15

場所：ピーポート甘木 第3学習室

出席者：構成員 森田市長、宮崎教育長、小川教育委員、井手教育委員、
内藤教育委員
教育部 高良教育部長、山南文化・生涯学習課長、
山見教育課参事、大坪教育課参事補佐
二宮教育課総務係長
関係課 田中保健福祉部長
田中福祉事務所長
時津子ども未来課長
事務局 鶴田総務部長、石井総合政策課長、
柳瀬男女共同参画推進・青少年係長、田子森、坂口
傍聴者 0名

欠席者：鹿毛教育委員

1 開会

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 平成30年度朝倉市教育施策要綱(案)について

(2) 義務教育に繋ぐ就学前教育のあり方について

(3) 災害発生半年後の児童生徒の様子・対応について

4 その他（事務連絡）

5 閉会

石井課長	<p>【進行：石井課長】</p> <p>◆定刻前ではございますが、本日は教育委員の鹿毛議員が急きょ欠席ということで連絡をいただいております。それから教育課の池田課長が公務のため欠席の連絡が入っております。ただ今から、始めさせていただきたいと思います。</p> <p>総合教育会議の主管課であります総合政策課の石井といたします。進行をさせていただきます。</p>
------	---

平成 29 年度第 1 回朝倉市総合教育会議を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

開会のあいさつ

◆本日の会議資料は、お手元の方に、次第並びに教育施策要綱(案)、それから不登校発生等、教育委員会からの準備資料がございます。ホッチキス止めの 2 つの資料については、会議終了後には回収をさせていただきます。それから、所管課であります総合政策課の男女共同参画推進・青少年係が取り組んでおります情報誌の「オアシス」。これは、朝倉市青少年育成市民会議が発行しており、中学校校区毎の活動内容等掲載されています。また、今月 25 日に開催します風おこしフォーラムの「災害と男女共同参画」のチラシ等も一緒に配布させていただいております。

◆レジュメに沿って進めさせていただきます。

それでは朝倉市市長 森田市長が、あいさつを申し上げます。

森田市長

市長あいさつ

皆さん、こんにちは。本日は、お忙しいところ、教育長をはじめ、教育委員会委員の皆様におかれましては、平成 29 年度第 1 回朝倉市総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。また、皆様には平素から、本市の教育行政にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、昨年 7 月に予定していました総合教育会議は災害のため中止とさせていただき、今年度は 1 回のみで開催となりました。今年は、災害からの復旧・復興事業がいよいよ本格化していきます。これまで開催してきた地区別復旧・復興推進協議会の中で出された地域住民の意見を汲み取りながら、10 年後を見据えた、将来的な光を見いだす復興計画を策定し、その計画に沿った復興対策に事業を集中させ、全力で取り組んでいく覚悟です。復興には長い年月がかかるとは思いますが、これからも、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

この総合教育会議においては、市長である私と教育委員会が対等な執行機関として、協議・調整を行うことにより、教育の課題やあるべき姿を共有し、連携しながら効果的に教育の条件整備など

	<p>重点的に講ずべき施策等を推進することで、本市の教育行政をよりよい方向に進めていけるものと考えております。</p> <p>総合教育会議が、市の教育行政のさらなる充実・発展に寄与することを期待しますとともに、教育委員会の皆様には、この会議を含め、今後とも、市の教育行政のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます、はなはだ簡単ではございますが、開会に際しましてのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
石井課長	<p>◆ありがとうございました。</p> <p>それでは、3. 議題に入っていきたいと思います。</p> <p>これからは、朝倉市総合教育会議設置要領第3条第1項の規定によりまして、朝倉市長の森田市長に、議長として、議事を進めていただきたいと思います。</p>
森田市長	<p>◆それでは、次第「3 議題」にあります順に、協議を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>◆まず(1)の「平成30年度朝倉市教育施策要綱(案)について」を議題といたします。教育課、資料の説明をお願いします。</p>
山見参事 山南課長	<p>資料 平成29年度第1回 朝倉市総合教育会議資料(1) 「平成30年度朝倉市教育施策要綱(案)について」の説明</p> <p>1 学校教育関連・・・山見参事 2 生涯学習・生涯スポーツ振興関連・・・山南課長 3 文化振興関連・・・山南課長</p>
森田市長	<p>◆ありがとうございました。平成30年度朝倉市教育施策要綱(案)について、説明がありました。</p> <p>ご意見、質問等がありましたらお願い致します。</p> <p>質疑・協議等</p>
宮崎教育長	<p>確かな学力の中で、重点目標を外国語教育の充実ということで挙げています。英語の力を上げるのは、文科省の方が今回小学校の方にも英語教育、英語活動、企画等をさせるようにして始めさせておりますが、校長会の方に話していますのは、低学年の1、2</p>

	<p>年から英語を使ったいろいろな活動をしようとしています。例として挙げているのは、朝の会、帰りの会で英語を使った活動をする。例えば、朝、英語の歌を歌う。出席の時に英語でとってみる。そのように、時間を取らないでできるような、日常的に英語を使うような、英語に親しむようなことをする。それから、図書館に行きましたら英語の童話がございます。そういうものの読み聞かせをしてみようと。絵本を見せながら、英語で言っても大体の話の筋を子どもは知っていますので、そういう風なことで英語に慣れるような、そのような取り組みをしながら低学年のときから英語に取り組んでいきたいと考えています。そして、将来的にはそれぞれの中学校区にALTの先生方が配置されるようになると、生の本当の英語が聞けるようになるので、施策に取り入れていけたらとの願いを持っています。以上でございます。</p>
<p>森田市長</p>	<p>他に何かございませんか。 ◆次の議題にまいります。 (2)「義務教育に繋ぐ就学前教育のあり方について」を議題といたします。 では、教育課より説明をお願いします。</p>
<p>大坪参事補佐</p>	<p>「義務教育に繋ぐ就学前教育のあり方について」の説明 (私たちは義務教育に関わっていますので、就学前というよりも、小学校1年生に上がってきた時の取り組みについて簡単にお話をさせていただきます。)</p>
<p>森田市長</p>	<p>◆ご意見、質問等がありましたらお願い致します。</p> <p>質疑・協議等</p>
<p>内藤委員</p>	<p>教育委員会としては、ご承知のように学校教育と社会教育とスポーツ・文化振興の執行機関となるのですが、家庭学習ではなく家庭教育は全体の中のどこに持ってきたらいいのかというのをずっと考えていまして、一つはコミュニティ。コミュニティは地域の力ですので、地域の子どもたちを育てるというのは大目標でありますし、コミュニティで家庭教育の大事さ、色々な学級とかやっていますが、全面に家庭教育というの</p>

	<p>を出すべきだと思うんです。行政は公が個の方に入ってきたらいけないというのは当然ありますが、コミュニティを通していけばもっと、朝倉市としても総合政策課がするかどうかはわかりませんが、教育委員会の他に外郭としてそういう組織があってもいいと思うんです。行政、コミュニティ、家庭、そして真ん中に学校があるというような、色々考えるんですけども、皆さんどういった意見かなと思って。</p>
山南課長	<p>家庭教育につきましては、生涯学習の範疇ということでございまして、私共が担当するということになりましたが、家庭における教育力回復のために、教育部署との連携を図りまして、孤立しがちな家庭と地域を連携させるための学習機関外の構築を図るということで一つには要綱の中に挙げております。実は例年やっております家庭教育講座というのを、年に数回やっているのですが、これを地域のコミュニティの方で開催をしようということで平成 29 年度は思い立って段取りをしていたのですが、災害の関係もありまして、開催が出来ずに終わってしまいました。そういうこともありまして、コミュニティに入行っての家庭教育講座、これは平成 30 年度も地域と一緒にやっていきたいと考えております。</p>
高良部長	<p>文化・生涯学習課長が言った形で、我々も家庭教育はこれからの重点課題だと思っています。一つは、今日の事務局であります青少年係の方に朝倉市青少年育成市民会議が実はあるんです。これは地区会議がありますので、そこに P T A、学校、地域、コミュニティが入っているというような組織がありますから、今後はその辺との連携をしっかりとやっていけたらと、そういうことが必要ではないかと思えます。</p>
内藤委員	<p>確かにそうです。僕が言いたいのは、コミュニティの集まりの中に家庭教育というものを全面的に出してほしいんです。僕らがコミュニティをお願いをするのではなくて、コミュニティというのは、当然子どもを育てるんだということで、家庭教育は大事なんだということを入れてほしい、ということをおっしゃっているのですが。</p>

鶴田部長	今すぐ回答はなかなかできないのですが、私が印象に残っているのが、蜷城小学校で学童保育が開設されていない時にコミュニティの方で一時取り組んでいたということがありました。やっぱり地域の方々の育てたいという思いが十分あるんだろうと思いますし、全市内的に、どういう形でという事を考えるべきだと思いますが、どういう形でというところがまだまだ今はない状況です。
内藤委員	親が子供を育てるんだという意識を持ってほしい。ほとんどみんな持ってますけど、たまに欠けている人がいますよね。そういう人たちに対して誰も直接言えない。これは、行政が中心になって言えるような行政にしてほしい。ということは、コミュニティもふるさと課が所管だから、ふるさと課が入って行こうじゃないかというぐらいの地域力を持たなくてはいけないと思う。何か大事件が起きた、などとならないためにやっていかななくてはならないなと思い発言したところでした。
森田市長	学童保育の集まりで、いつも私が言うのは、皆さんは忙しいだろうけれども、皆さんが子育てに必ず関わってくださいと。どうかすれば、預ければそれでいいという人が多いのですよ。だから、内藤さんが言われるように、難しいのだけれども、親がきちっと自覚をして子育てに関わるということをどういう形でか、地域とかやっていかなければと私も思います。
小川委員	認定こども園のことなんですけど、市内の幼稚園、保育所は子どもが減って経営が苦しかったりとか、やっぱり充実した教育とか幼稚園の活動ができないところが多いと思うんです。認定こども園ということで国が推奨されているようなので、それぞれ取り組みをしてあるところもあると思いますが、まだ今からのところがほとんどだと思います。色々補助はいただけるにしても、クリアすべきハードルが高いので、その辺の手続きを市が指導・アドバイスをしたりとか、もう少し協力的にいただけたら認定こども園が増えて地元の子どもさんも預けやすくなりますし、市外からも結構需要があると思うんです。そうすると小学校に上がる前の教育も充実してくると思います。色々な意味で好循環になると思います。そこら辺に力を入れてくれるとありがた

	<p>いと思っております。</p>
時津課長	<p>現在朝倉市の保育所につきましては、公立が10か所と私立が6か所、そのほかに認定こども園が1か所ございます。平成29年4月から認定こども園「どれみ保育園」が開設されております。直近では、ドラッグストアモリの中に企業主導型の保育園で「ドラモリ保育園」が高速甘木インターの近くにもできておりまして、公立、私立に関わらず、色々な保育の仕方が直近でもできるようになってきています。先ほど教育長が申されました、英語の外国語教育についてですけれども現在、公立、私立共に外国人の方に来ていただいて、英会話教室をやっております。月に2回実施いたしまして、1回1時間程度ですけれども、外国の先生と触れ合うことによって異なる文化に親しみを持ちながら教育、保育をさせていただいている過程がございます。</p> <p>そちらの外国人のふれあい保育につきましても、朝倉市の保育所保育課程に基づいて実施しているところでございます。</p>
井手委員	<p>市内の小学校、中学校には、小学校の研究会があり、中学校には中学校の研究会があります。そういったものが、幼稚園、保育所にあるのかどうか。横のつながりがどうなっているのか。</p>
時津課長	<p>研究会は朝倉市で保育協会というのがございまして、その中で年に2回大きな学習会を開催されてあります。平成29年度は災害についての心のケアの学習会をしたり、それぞれ年齢別の先生方によって分科会がありまして、そちらで毎月1回研究会をなされるようなこともあっています。</p>
森田市長	<p>英語の教育についてもそういったのがあるのか。</p>
時津課長	<p>英語はまた別です。</p>
井手委員	<p>そういった縦のつながりや横のつながりを大事にしていく必要があると思います。特に、杷木の小学校は統合して、1つの小学校になって4月に開校するわけですけれども、杷木には杷木中学校区のPTA連絡協議会というのがずっと昔からあるわけです。その動きが今度の統合に向けての準備です。大変スムーズにいつ</p>

<p>森田市長</p>	<p>たと思う。だから、そういった横のつながりや縦のつながりを大事にしていけないといけないなと思います。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>◆以上で「義務教育に繋ぐ就学前教育のあり方について」の協議を終わります。</p> <p>◆（３）「災害発生半年後の児童生徒の様子・対応について」に移ります。</p> <p>では、教育課より説明をお願いします。</p>
<p>大坪参事補佐</p>	<p>「災害発生半年後の児童生徒の様子・対応について」の説明（被災学校では、カウンセリング等に取り組みされており、現在児童生徒は落ち着いて生活ができている旨の報告）</p>
<p>森田市長</p>	<p>◆説明がありましたが、ご意見、ご質問等がありますか。ないようですので、本日の議題はこれまでとなっておりますので、せっかくの会議ではございますので、委員さんからその他何かご意見がありましたらお願いします。</p>
	<p>意見等</p>
<p>小川委員</p>	<p>いじめとか不登校とかの問題がありますけれど、やはりもともとの元凶は大人にあると思うんです。それで、先日人権同和の映画など協議会の方たちが色々苦心して実施されてありますが、本当に内容がすばらしい割には参加者が少なかったです。せっかく素晴らしいものを企画されてありますので、これに若い人を呼び込むようなちょっとしたイベント風にしてあげると若い人も参加して良いものに触れる機会になるんじゃないかと思うんです。本当にもったいないと思いました。ぜひそういう点に気を配って頑張っていたきたいと思いました。</p>
<p>森田市長</p>	<p>今日は担当が来ておりませんので、担当のところには申し付けておきます。</p> <p>他にございませんか。ないようですので、以上で、議長としての本日の進行を終わります。ご協力ありがとうございました。</p>

石井課長

市長の方は、議長ありがとうございました。

◆次第「4 その他」です。

教育大綱は27年度の11月に作成をさせていただきました。当初から3年間という中で法律的な制度、決まりはございません。市長の任期中とか、あるいは大きな政策等の変更があった場合についてそれに見合わせて変更するとしています。朝倉市の教育大綱は、29年度というところの期日を打っておりました。その上の段階の朝倉市総合計画を30年度に改正、第2次に向けて策定するところで、今策定に向けて進んでいるところでございます。今回、30年度に教育大綱についても見直しをかけるというところで考えております。その際には引き続き、この総合教育会議の中でも検討の場を設けていこうということで事務局の考え方として持っております。その事を今回その他の中で事務局からお繋ぎをさせていただいております。さらに29年度については、7月は九州北部豪雨災害で中止ということで、今回1回だけになりました。基本的にこの総合教育会議は、年2回を目標と考えております。こういう色々なお話ができるということも大事な場面という認識をしております。30年度については、日程調整をはかりながら7月等を目途に議題、それから教育大綱の部分まで触れていけたらということで事務局としては考えております。

他になれば、約1時間有意義な議論がされました。これを持ちまして、平成29年度第1回朝倉市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。